

補助事業概要の広報資料

補助事業番号 23-2-045

補助事業名 平成23年度 障害を持つ人が幸せに暮らせる社会を作る活動補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

精神障害をもつ人たちが主体的に生きていくことのできる社会のしくみづくりのための情報を提供し、もって社会福祉の増進に寄与する。

(2) 実施内容

①啓発誌の発行

- 1) 対象：精神障害者とその家族、支援関係者及び一般の方
- 2) 内容：精神疾患に関する正しい知識、病気の方やご家族の体験談、福祉制度の解説の他、精神疾患や薬、社会資源等の最新情報などを掲載。
- 3) 様式：B5版64頁
- 4) 発行部数：毎月10,000部×12回

②ピア・ネットワーキング・プロモーション研修の開催

- 1) 対象：精神疾患の当事者
- 2) 内容：孤立しがちな当事者が他の当事者と情報や経験を共有する機会を提供し、全国で広まりつつあるピア活動のネットワークを作る。
- 3) 時期：年間4回（10.12.2.3月に開催）
- 4) 場所：日本全国4カ所にて開催（神奈川、岩手、奈良、福岡で開催）

○第1回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in横須賀

日時：平成23年10月8日

会場：横須賀市立総合福祉会館 5階視聴覚研修室（横須賀市本町5-1）

参加者：20名



第1回目となる横須賀での研修会には、群馬県、栃木県を除く関東各県から参加者20名が集まった。当事者がメインであったが、家族やサービス従事者の参加もあった。参加者はまず小グループを作り、参加したいピアサポートグループはどうあるべきかについて話し合った。その際には、ワールドカフェ方式で、他のグループの討論状況を確認し共有しあった。その後、ピアサポートグループを作るのに、各自が「一番必要・大切なものは何か」について再度グループ毎に考えあった。「Free-Silence-Break（自由、沈黙、休憩）」、「Love（愛）」、「安心」、「風通し」、などが挙げられ、各グループ毎にそれを模造紙に書き、次の盛岡での研修会参加者へのメッセージを作り上げた。最後に記念写真をとり、笑顔で終了した。

○第2回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in盛岡

日時：平成23年12月4日

会場：いわて県民情報交流センター・アイーナ（盛岡市盛岡駅前西通1-7-1）

参加者：52名



盛岡以降の3カ所では、地元の団体の協力を得て（盛岡ハートネット&WRAP 研究会いわて）、研修会を行うという形式をとった。また、2部構成にし、まず第1部では地元でピア活動を行っているグループ・個人に登場してもらい、それぞれの活動を紹介してもらった。参加者には事前にチラシやポスターを持ち寄ってもらうようお願いしておいた。活動紹介をもらったグループ・個人以外の参加者も、それぞれがかかわっているグループについての案内チラシや、活動を1枚にまとめたポスターなどが集まった。参加者はお互いのチラシを持ち帰ったり、また、休憩時間中にポスターから連絡先をメモしたりしていた。参加者の中には、そういったグループや活動とつながっていない方も多くおり、「始めてこういった集まりに来てみました」、「同じ立場（注：精神疾患を持った当事者）の人と話すのは始めて」といった当事者の言葉が印象的だった。後日、そのうちの何人かが、協力団体にコンタクトをとり集まりに顔を出すようになったとの話を聞いた。奈良（第3回）、福岡（第4回）でも、同様のプログラムで研修会を行った。盛岡の参加者52人も、ほとんどが当事者、その他、家族会関係者やサービス従事者の顔もみられた。参加者はほとんどが市内在住者だった。これは、被災地のため交通機関が十分復旧しておらず、またアクセスが困難なためであった。実際、問い合わせの段階で、上記の理由で「参加したいがあきらめる」との声も多く、主催者側としてはたいへん残念だった。第2部では、前回同様、小グループに分かれてもらい、「ピアグループを長く続けるためには何が必要か」についてワールドカフェ方式で話し合いをした。その際、横須賀の参加者からのメッセージを紹介し、それを参考にしつつ、話し合いを持ってもらった。また、それぞれが考えたキーワードを紙に書いてもらい、持ち帰ってもらった。（その前に、記録のため写真をとった）「安心」、「思いやり」といった相手を気遣うことに関する言葉や、「ありのままの自分」、「距離感」、といった、自分を大切にすることをあげる方が多かったのが印象的だった。最後に、全員で写真をとり、笑顔で散会した。

○第3回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in奈良

日時：平成24年2月29日

会場：奈良県文化会館 集会室A&B (奈良市登大路町6-2)

参加者：55名



後半2回の研修会（奈良、福岡）では、前半2回（横須賀、盛岡）で参加者から得た意見をもとに、誰でも安心して互いを尊重しつつ会話ができるように配慮したシンプルなマニュアルを用意し、気軽に集まって「言いつばなし聞きつばなし」するピアグループを実際に体験してもらった。奈良の研修会でも地元の団体（地域活動支援センターぴあぽ〜と）に協力をお願いした。県内在住者の他、近畿各県（大阪、京都、三重、滋賀、など）からも参加者があった。参加者55人のうち、ほとんどが当事者で、家族や支援者は少数であった。第1部では、前回の盛岡同様、地元でピアサポート活動をしているグループに登場・発表をしていただいた。チラシやパンフレットも持ち寄っていただいたので、様々な情報が参加者に伝わった。第2部では、小グループにわかれ、ピアサポートグループのマニュアルにそって「言いつばなし聞きつばなし」を体験してもらった。すでにピア活動をしている参加者にも、別の形のピアグループのやり方を提案することができ、好評であった。前半2回では、時間配分の関係で、用意したアンケートを十分回収することができなかったが、奈良では参加者からのアンケート回収率も59%と高く、89%が大いに満足、満足と答えていた。

○第4回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in福岡

日時：平成23年10月8日

会場：西南学院大学 西南コミュニティーセンター2F (福岡市早良区西新6-2-92)

参加者：35名



研修最後となる福岡でのP.N.P.P.には、35名が参加した。当事者の他、家族やピア活動をサポートしたいという専門職の参加も多かった。第1部では地元で活動しているピアグループに活動紹介をしていただいた。ピアグループ立ち上げにいたる成り立ちや、運営上の苦勞や喜びについても語られ、感動的なプレゼンテーションをしていただいた。また、事前に打ち合せをしていなかったものの、参加者の中に、発達障害（学生を含む成人）

のピアサポート活動をしている方がおり、飛び入りで発表をしていただいた。第2部では、小グループに分かれ、「言いつばなし聞きつばなし」の会のマニュアルを配って、ピアグループ体験をしていただいた。グループごとにファシリテーター（司会役）を決めてもらい、話題を選んでもらい、それについて話し合ってもらった。研修後のアンケートでは満足度が非常に高く（普通、不満、大いに不満との回答はなし）、「また、自分でもセルフヘルプ活動を試してみたいと思いましたか」との問いに、「はい」と答えた参加者が多かった（24%）のが印象的であった。また、自分の地元にもぜひ来て欲しいとの声が多かったこともあり、このプロジェクトへの期待やニーズの高さを実感した。参加者数はその前2回に比べてやや少なかったものの、プロジェクトの最後を飾るにふさわしい、たいへん中味の濃い研修会となった。

計画どおり年4回実施。開催地によりばらつきがあるものの合計で162人が参加した。予定より若干下回ったが、回を重ねる毎に改善される見込み。ピア・ネットワーキング・プロモーション研修の目的は、当事者同士の個人やグループのつながりを、草の根的に広げていくことである。研修会は情報提供・交換の場ともなり、それぞれの地元でのピアのネットワーク（当事者同士の横のつながり）が広がっていくきっかけになった。参加者それぞれが、既存の社会資源に加え、ピア・ネットワークという資源を得たり、またそれまで全く社会資源とのつながりがなかった当事者が他の当事者とふれあい、自らの言葉で語り、他の参加者の言葉に耳をかたむける機会となった。

2. 予想される事業実施効果

① 啓発誌の発行

啓発冊子で最も大切にしているのは同じ病気を経験した人の生の声であり、毎回いろいろなテーマで、同じ病気を経験した人たちの体験談を数多く掲載している。精神疾患は慢性化することが多く、病気についての正しい知識を知り、「病気とつきあう」ことが大切である。この体験を重視した啓発冊子を読み続けることで、当事者本人が正しい知識をもつことができ、リカバリーする人の増加が期待できる。

②ピア・ネットワーキング・プロモーション研修事業

日本ではまだピアをつなぐネットワークが存在せず、各活動の情報や貴重な経験が共有されずにいる。この研修事業により当事者活動の横の連携を図ることが可能となる。

当事者が集まり、他の当事者と情報や経験を共有する機会を得ることで、リカバリーのノウハウが蓄積され、また、ピアのネットワークを作ることで、孤立している当事者のサポートが可能になり、リカバリーすることが可能となる。

3. 本事業により作成した印刷物

啓発誌「こころの元気+plus」毎月10,000部×12ヶ月発行



「こころの元気+5月号」
平成23年4月30日発行



「こころの元気+6月号」
平成23年5月30日発行



「こころの元気+7月号」
平成23年6月30日発行



「こころの元気+ 8月号」
平成23年7月29日発行



「こころの元気+ 9月号」
平成23年8月31日発行



「こころの元気+ 10月号」
平成23年9月27日発行



「こころの元気+ 11月号」
平成23年10月31日発行



「こころの元気+ 12月号」
平成23年11月30日発行



「こころの元気+ 1月号」
平成24年12月27日発行



「こころの元気+ 2月号」
平成24年1月30日発行



「こころの元気+ 3月号」
平成24年2月28日発行



「こころの元気+ 4月号」
平成24年3月30日発行

4. 事業内容についての問い合わせ

団 体 名：特定非営利活動法人精神保健福祉機構

住 所：272-0031

千葉県市川市平田3-5-1 トノックスビル2F

代表者名：代表理事 大嶋 巖（オオシマ イワオ）

担当部署：事務局（ジムキョク）

担当者名：事務局 寺本 育男（テラモト イクオ）

電話番号：047-320-3870

F A X：047-320-3871

E - m a i l： pr@comhbo.net

U R L： <http://comhbo.net>